

爽やかな香りが夏にピッタリ！

「葉ショウガ」収穫スタート！

【7月中下旬／碧南市内で収穫風景を紹介します】

J Aあいち中央碧南しょうが・しそ部会（部会長：伊藤正敏）が栽培する葉ショウガの出荷が、7月中旬から始まります。葉ショウガの主要産地は、静岡県、千葉県、茨城県で、主に関東で食べられている食材です。愛知県では碧南市が県内でも有数の産地です。

葉ショウガは、新ショウガが育ち始めてから、ある程度の大きさになったときに葉をつけたまま出荷するもので、みずみずしさとピリッとした辛味があり、爽やかな香りが特徴です。甘酢や味噌、しょう油などに漬けたり、甘味噌を付けたりして生のまま食べるのが一般的です。

今年は4月上旬の伏せ込み（植え付け）作業後に低温が続き、生育の遅れが心配されましたが、その後は気温が上がり、十分な日照と適度な雨もあったことから順調に生育。品質も良好です。



葉ショウガを収穫する生産者

鮮度の高いものを届けるために

部会では、消費者へ鮮度の高いものを届けるために、朝4時から収穫し、当日出荷しています。収穫した葉ショウガは、ブラシの付いた機械で水洗いし、乾き過ぎない程度に自然乾燥した後、100～200グラム（出荷時期によって異なります）に束ね、袋詰めして出荷します。

J Aあいち中央碧南しょうが・しそ部会

部 会 員：9人（内、葉ショウガ栽培は3人）

栽培面積：約7アール

総出荷量：約1.0トン（見込み）

出荷時期：7月中旬～9月上旬 最盛期：7月中旬～8月中旬

流通先：主に中京、浜松の市場を通じ、大手量販店で販売されるほか、当J A農産物ネット販売サイト「碧海そだち～オンラインショップ～」でも取り扱っています。



収穫したばかりの
真っ白な葉ショウガ

＜メディア対応日＞

日 時：2025年7月中下旬 午前5時（予定）

集合場所：J Aあいち中央碧南ひがし支店（碧南市照光町5-27）

※当日は、碧南市内の圃場（車で約5分移動）で収穫作業の撮影、生産者へのインタビューを予定しています。

※天候や作業状況等により、日時・集合場所が変更になる場合があります。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

J Aあいち中央総合企画部企画課広報強化対策室（担当：山村、杉浦、細井）

TEL：0566-73-5504／携帯：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp